

## 2019 年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2020 年 3 月 23 日
研究・研修課題名	他病院の医師事務作業補助者業務の研修と医師事務作業補助者に関する研修会等の参加
研究・研修組織名(所属)	医師事務作業補助者(医療サービス課)
研究・研修責任者名(所属)	西山 裕美(医療サービス課)
研究・研修実施者名(所属)	福島 愛、三谷 直子、和田 智美、成相 優佳、水野 恵里子、原 佳代、野津 香理、藤江 伸子、陰山 由美子、岡田 かおり、遠藤 由香、伊藤 里美、柳楽 真理子、吾郷 純子、秦 ひと美、白築 サーラ、三谷 美由紀、佐藤 陽子、片伊勢 一恵、広田 久美、津森 真理子、横山 直美、田中 真紀子(医療サービス課)

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input type="checkbox"/> 資格取得 <input type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得 <input type="checkbox"/> その他の成果( 該当なし )
該当者名(所属)	
学会名(会期・場所)、認定名等	
演題名・認証交付元等	
取得日・認定期間等	
診療報酬加算の有無	<input type="checkbox"/> 加算有( ) <input checked="" type="checkbox"/> 加算無

目的及び方法、成果の内容①目的

医師事務作業補助者は 25 名となり、初年の採用から 3 年目を迎えたこともあり、平成 31 年度は、島根県内の医師事務作業補助者を採用している他病院へ業務の研修に行く。また、第 9 回日本医師事務作業補助研究会、日本医療秘書学会第 17 回学術大会に参加し、幅広い知識を得て、本院の医師の負担軽減、医療の質の向上に貢献する。

②方法

医師事務作業補助を採用し積極的な活動を行っている他病院を研修に行き、今後の活動に生かす。第 9 回日本医師事務作業補助研究会、日本医療秘書学会第 17 回学術大会に参加し、学会で得られた知識を基に、スキルを上げ医師の負担軽減に生かす。

③成果

他病院の研修見学では、特に外来診療業務、シュライバー業務を見学し本院の業務に役立つ内容の情報を得ることができた。

第 9 回日本医師事務作業補助研究会に参加し、大学病院での医師事務作業補助者の活用状況や今後の教育体制の整備について学ぶことができた。

日本医療秘書学会第 17 回学術大会に参加し、医師と事務系専門職の役割分担や ICT の導入について学会で得られた知識や新たな取り組みの情報を得た。